

環境保全

アドバイザー

平成15年度版

考えは地球規模で行動は足もとから



札幌市

環境保全アドバイザー 一覧

分類	氏名	専門・研究分野	所属・職業等
環境全般	太田 幸雄	大気保全工学、環境気象学	北海道大学大学院工学研究科教授
	小野 有五	環境地理学、地球生態学	北海道大学大学院地球環境科学研究科教授
	坂入 信夫	生態環境科学、化学物質と生物との関わり	北海道大学大学院地球環境科学研究科教授
都市と環境	辻井 順	都市環境デザイン、まち並み・まちづくり計画、環境改善活動	(株)ホルス専務取締役
消費生活と環境	鮫島 和子	消費者商品学、消費者教育、環境教育	札幌学院大学名誉教授
	井上 宏子	消費者教育、環境教育	消費生活アドバイザー 花王販売(株)消費者交流室長
	石塚 祐江	リサイクル、リサイクルを通じたエコライフ、環境管理システム(ISO14001)	北のごみ総合研究会幹事、北海道紙パック事務局、循環ネットワーク北海道、道栄紙業(株)非常勤顧問
	渋谷 絢子	消費経済学、家庭経済学、省エネルギー・消費者教育	(株)札幌消費者協会副会長 北星学園大学非常勤講師
	中村 靖子	消費生活	札幌友の会経済部リーダー
	東 龍夫	資源リサイクル、過剰消費と環境破壊、持続可能な社会システム	(有)ひがしリサイクルサービス代表取締役
水辺の環境	石川 清	水質分析、河川・湖沼・沿岸海域の環境調査、下水道計画	北海道指導漁業協同組合連合会環境部主査
	橋本 真一	近自然工法による川づくり、自然環境復元のための住民参加	(株)北海道技術コンサルタント代表取締役
自然観察・自然保護	小野寺 蔵	野外教育、冒険教育、体験教育	(財)青少年野外教育振興財団専務理事
	金田 寿夫	野生動物飼育学、ペット相談、野生動物保護と環境、探鳥会案内	円山動物園協会会長 アニマルスクール講師
	久万田 敏夫	昆虫分類学	元北海道大学農学部教授
	島田 明英	野鳥・野生ほ乳類の調査研究、自然観察、自然教育	自然ウォッチングセンター代表
	鈴木 利典	環境調査(ほ乳類・鳥類)、自然体験プログラムの企画・運営、自然ガイド	フィールドリサーチグループ タルカ代表
	住友 順子	野鳥・野の花観察、自然の中でのゲームの企画・指導	日本野鳥の会札幌支部事務局長
	永盛 拓行	チョウの生態、行動を中心としたフィールドワーク、環境調査	北海道札幌藻岩高等学校教諭
	蕨沢 ちよ	自然ウォッチングツアー企画、実施、ガイド、アドバイス	自然ウォッチングセンター 自然ガイド
	福地 郁子	自然観察指導、特に植物を中心とする自然観察	(株)北海道自然保護協会常務理事
	丸山 博子	環境教育、野外教育、自然ふれあいプログラム開発	丸山環境教育事務所代表
	三木 昇	自然について、特に野外指導の手法の開発	北の森自然伝習所
山口 和男	森林レクリエーション計画、ネイチャーゲーム、自然環境保全計画	(有)自然環境コンサルタント代表取締役	
アイヌ文化と環境	小川 早苗	アイヌ文化生活史、草木等を利用したアイヌ伝統工芸	アイヌ文化伝承の会手づくりウタラ主宰
外国の環境保全	ハイケ・パーベンティン	ヨーロッパ(特にドイツ、デンマーク)におけるエコライフ、環境教育	ドイツ語教師

札幌市環境保全アドバイザー制度の概要

●概要

最近の環境問題は、地球環境、自然保護、リサイクル等、様々な分野に広がりを見せています。また、環境保全に取り組むきっかけづくりや、実践活動のための専門的な知識・情報への要求は高いものがあります。一方で、一般市民が専門家に講演・指導等のための講師を依頼することは、相当の困難を伴い、また、謝礼等の金銭的な負担も必要です。

このため、市では平成5年度から、市がアドバイザーとして委嘱した各分野の専門家を、市民の観察会・学習会等に派遣し、謝礼も市が負担することにより、環境保全に取り組む市民の負担を軽減しています。このことによって、市民が自ら環境教育・学習活動を進められ、多くの方々が環境問題に対する意識を深めながら、環境保全活動に取り組んでいただきたいと存じます。

●派遣の対象

[対象となる主催者]

市民団体、市民グループ、町内会、PTA等どなたでも申し込めます。ただし、営利を目的としたり、特定の宗教、特定の政治活動を主たる目的とするものには派遣をお断りさせていただきます。

派遣対象になるのは、原則としておおむね20名以上の参加者がある観察会、学習会等で、派遣申請は1団体につき年1回までとさせていただきます。

また、できるだけ多くの一般市民の方々に利用していただきたいことから、以下に該当する団体は派遣申請をご遠慮くださるようお願いします。

- ・官公庁、札幌市の組織・施設、市立小中学校（PTA等を除く）、市立幼稚園、市立保育園等
- ・主たる構成員が札幌市民以外で構成されている団体

[対象となる内容]

自然観察会、環境保全に関する学習会（地球環境、自然保護、リサイクル、ゴミ問題等）、講演会、研修会等です。

●申請の手続き

[派遣の申請]

申請書（第1号様式）に必要事項を記入して、必ず派遣希望日の30日前までに、市役所環境計画部環境活動推進課（本庁舎12階南側 ☎211-2877）に提出してください。

ご希望のアドバイザーと交渉のうえ、派遣するアドバイザー名等を主催者に通知いたします。

なお、ご希望のとおりアドバイザーを派遣できない場合もありますので、ご了承ください。

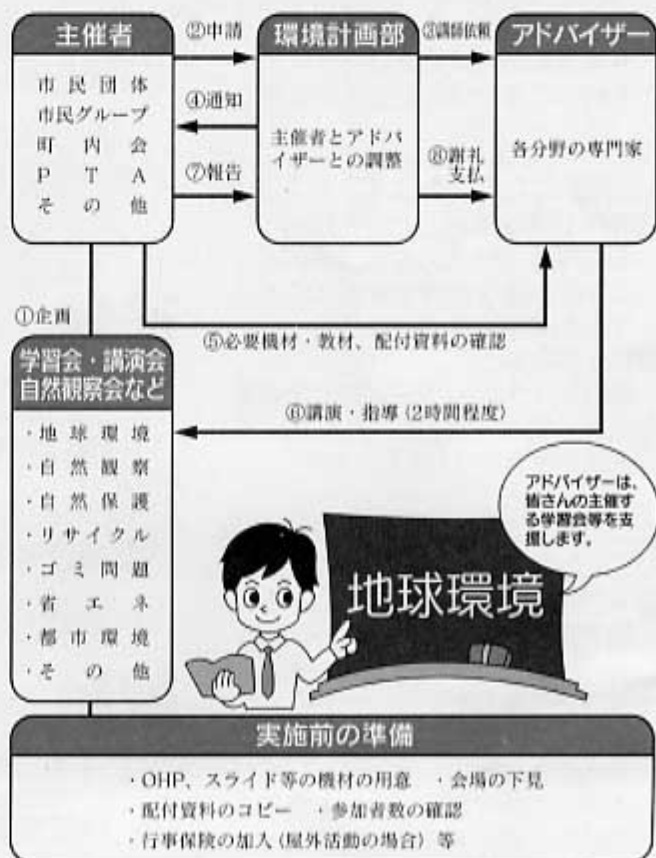
[報告書の提出]

アドバイザーの派遣を受けた学習会、観察会等の終了後、感想・意見等を記入した実施報告書（第2号様式）を提出してください。

●アドバイザーへの謝礼

謝礼（交通費含む）は、市が負担いたします。

なお、内容によっては教材等が必要な場合がありますが、その費用は主催者の負担となります。



アドバイザーのプロフィール ①

環境全般

●専門・研究分野

大気保全工学、環境気象学(大気エアロゾルの気候影響、酸性雨の生成機構、北極圏の環境汚染など)

●主な著作など

「季刊、化学総説No.10大気の化学」(共著)

太田 幸雄

おおた さちお
北海道大学大学院
工学研究科教授
1947年生まれ

●就任委員など

札幌市環境審議会委員
札幌市環境影響評価審議会委員

●私から一言

酸性雨、地球温暖化、オゾン層の破壊等の大気環境問題について、アドバイスをします。

環境全般

●専門・研究分野

環境地理学、地球生態学

●主な著作など

「北海道の自然史」「自然をみつける物語(全4巻)川との出会い・森の時間・山のひみつ・島への旅」「北海道・森と川からの伝言」「自然環境とのつきあい方第3巻・川とつきあう」

小野 有五

おの ゆうご
北海道大学大学院
地球環境科学研究科教授
1948年生まれ

●就任委員など

日本自然保護協会理事

●私から一言

世界各地での環境の研究をもとに、自然の大切さ、身近な自然を守ることの大切さについてお話ししたいと思います。

環境全般

●専門・研究分野

生態環境科学、有機化学、化学物質と生物との関わりについて

●主な著作など

「糖—その多様性を探る—」(共著)

●就任委員など

札幌市環境審議会委員
札幌市環境影響評価審議会委員

坂入 信夫

さかいり のぶお
北海道大学大学院
地球環境科学研究科教授
1953年生まれ

●私から一言

化学物質と生物とのかかわりについて研究を行っています。内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)などについての話やアドバイスができればと思います。

都市と環境

●専門・研究分野

都市環境デザイン、市民参加によるまち並み・まちづくり計画、グラウンドワーク(環境改善)活動

●就任委員など

財団法人日本グラウンドワーク協会北海道支部地域コーディネーター、札幌市北区まちづくり8人委員会委員

辻井 順

つじい じゅん
㈱ホルス
専務取締役
1962年生まれ

●私から一言

まちづくりの担い手は住民の方々です。愛着をもてるまちづくり、快適な環境の創造に向けて、専門的な立場から実践的なお手伝いができればと考えております。

消費生活と環境

●専門・研究分野

消費者商品学、消費者教育、環境教育

●主な著作など

「暮らしと環境に関する調査I、II、III」「廃食用油再生せっけん」「水と人間」(共著)「消費者教育を考える第1集」(共著)「環境論」(共著)

鮫島 和子

さめじま かずこ
札幌学院大学
名誉教授
1927年生まれ

●就任委員など

日本消費者教育学会副会長・北海道支部長、リサイクルせっけん協会北海道代表

●私から一言

地球規模の環境問題を暮らしの中から考え、環境保全型・資源循環型の生活を実践するための方法について話をします。

アドバイザーのプロフィール ②

消費生活と環境

●専門・研究分野

消費者教育、環境教育

●就任委員など

北海道生涯学習審議会委員、(財)北海道地域活動振興協会評議委員、NPO北海道ボランティアコーディネーター協会副理事長

井上 宏子

いのうえ ひろこ

消費生活アドバイザー
花王販売株式会社消費者交流室室長
1946年生まれ

●私から一言

家庭生活の中で培われている生活の知恵や生活環境の変化に伴って起きる諸問題などについて実生活レベルで考えてまいります。

消費生活と環境

●専門・研究分野

紙のリサイクル、リサイクルを通しエコロジーライフスタイルを考える、グリーンコンシューマー(買い物から環境を考える)、環境管理システム(ISO14001)

●就任委員など

北海道環境審議会委員、(財)北海道

石塚 祐江

いしづか さちえ

北海道紙パック事務局
循環ネットワーク北海道
1964年生まれ

●私から一言

緑の地球を子どもたちへ…地球の環境問題について、今、私達ができることを…見つけませんか。使い捨て社会を見直し、緑の地球を守りましょう。

消費生活と環境

●専門・研究分野

消費経済、消費生活、省エネルギー・消費者教育

●主な著作など

「消費者相談ノート」北海道21世紀に向けて(共著)「パートナーシップの時代」(共著)「ひとりになったとき」(共著)

●就任委員など

北海道教育大学旭川校非常勤講師、札幌市環

渋谷 絢子

しぶや あやこ

札幌消費者協会副会長
北星学園大学非常勤講師
1940年生まれ

境保全活動推進会議委員、札幌市消費生活審議会委員、北海道消費者苦情処理委員会委員

●私から一言

経済のしくみの中で環境保護のためにできる消費行動。環境にやさしい商品選択。楽しみながらの省エネライフスタイル。省エネルギーのこと。

消費生活と環境

●専門・研究分野

消費生活

●私から一言

ますます複雑に悪化の様相を見せる環境問題に対して私達生活者は何をなすべきでしょうか? ゴミ問題や水、電気、ガス等の使い方、具体的な工夫を考え合いたいと思

中村 靖子

なかむら やすこ

札幌友の会
経済部リーダー
1938年生まれ

います。小さな実践を積み重ね、広げていくことで、次代の子供達に少しでも良い環境をと願います。

消費生活と環境

●専門・研究分野

資源リサイクル全般(個人生活～社会システム)、過剰消費と環境破壊、持続可能な社会システム論

●主な著作など

「くず屋が行く」(アジア太平洋資料センター)「ゴミは地球を減らすってホント?」(札幌自由学校・選)

●就任委員など

東 龍夫

ひがし たつお
㈱ひがしリサイクルサービス
代表取締役
1952年生まれ

札幌市資源リサイクル事業協同組合副理事長、環境カウンセラー(市民部門・事業者部門)

●私から一言

ゴミを減らすことに反対する人はいません。しかし、消費や生産を減らすことはどうでしょう? ゴミは大量生産・大量消費の結果です。より少ない資源とより少ないエネルギーで豊かに暮らすにはどうするか? 共に考えましょう。

アドバイザーのプロフィール ③

水辺の環境

●専門・研究分野

水質分析、河川・湖沼・沿岸海域の環境調査、下水道計画

●主な著作など

「都市の中に生きた水辺を」(分担執筆)「日本の水環境－北海道編」(分担執筆)

●就任委員など

北海道環境計量証明事業協議会環境測定技術研究会委員、日本水環

石川 清

いしかわ

きよし

北海道指導漁業協同組合連合会
環境部主査

1957年生まれ

境学会北海道支部幹事、環境計量士、技術士(水道部門)、札幌市環境影響評価審議会委員

●私から一言

水を中心とした自然環境に関して、漁業側から見た望ましい環境、水利用の仕方、下水道、また、森と川の関係等の視点から調査を行っています。

水辺の環境

●専門・研究分野

土木分野における近自然工法による施設の計画・設計、特に生態系の保全および復元を目指した川づくり、身近な自然環境復元のための住民参加のあり方

●主な著作など

論文「精進川の再改修における生態系復元工法について」(土木学会北海道支部)

橋本 真一

はしもと

しんいち

(株)北海道技術コンサルタント
代表取締役

1952年生まれ

●就任委員など

札幌商工会議所総合建設関連部会常任委員

●私から一言

今、川の工事は治水一辺倒の川の直線化・コンクリート化を180°転換し、自然豊かな川づくりを目指している。住民も汗を流し、守り育てる水辺の環境を話題にした

自然観察・自然保護

●専門・研究分野

野外教育、冒険教育、体験教育

●就任委員など

文部科学省青少年野外教育指導者研修事業企画運営委員、北海道教育委員会北海道生涯学習審議会委員 ほか

小野寺 蔵

おのでら

おさむ

(財)青少年野外教育振興財団
専務理事

1962年生まれ

●私から一言

「自然が先生!」大自然の中であそびを通して、自然の素晴らしさ・偉大さを感じてもらいたい。そんな気持ちを自然の中であそびから学びましょう。

自然観察・自然保護

●専門・研究分野

野生動物飼育学、ペット相談、野生動物保護と地球環境、探鳥会案内

●主な著作など

「円山動物園の愉快的な主役たち」

●就任委員など

札幌市環境影響評価審議会委員

金田 寿夫

かねた

ひさお

元円山動物園園長

1933年生まれ

●私から一言

有史以来、多くの動物が地球上から姿を消し、さらに5,000種もの動物が絶滅にひんしている。最大の原因「環境問題」に早急に取り組まなければ、動物の一種である人間も同じ運命をたどることだろう。